

地方公共団体における「少子化対策地域評価ツール」を活用した「地域アプローチ」
による少子化対策の推進に関する調査研究事業

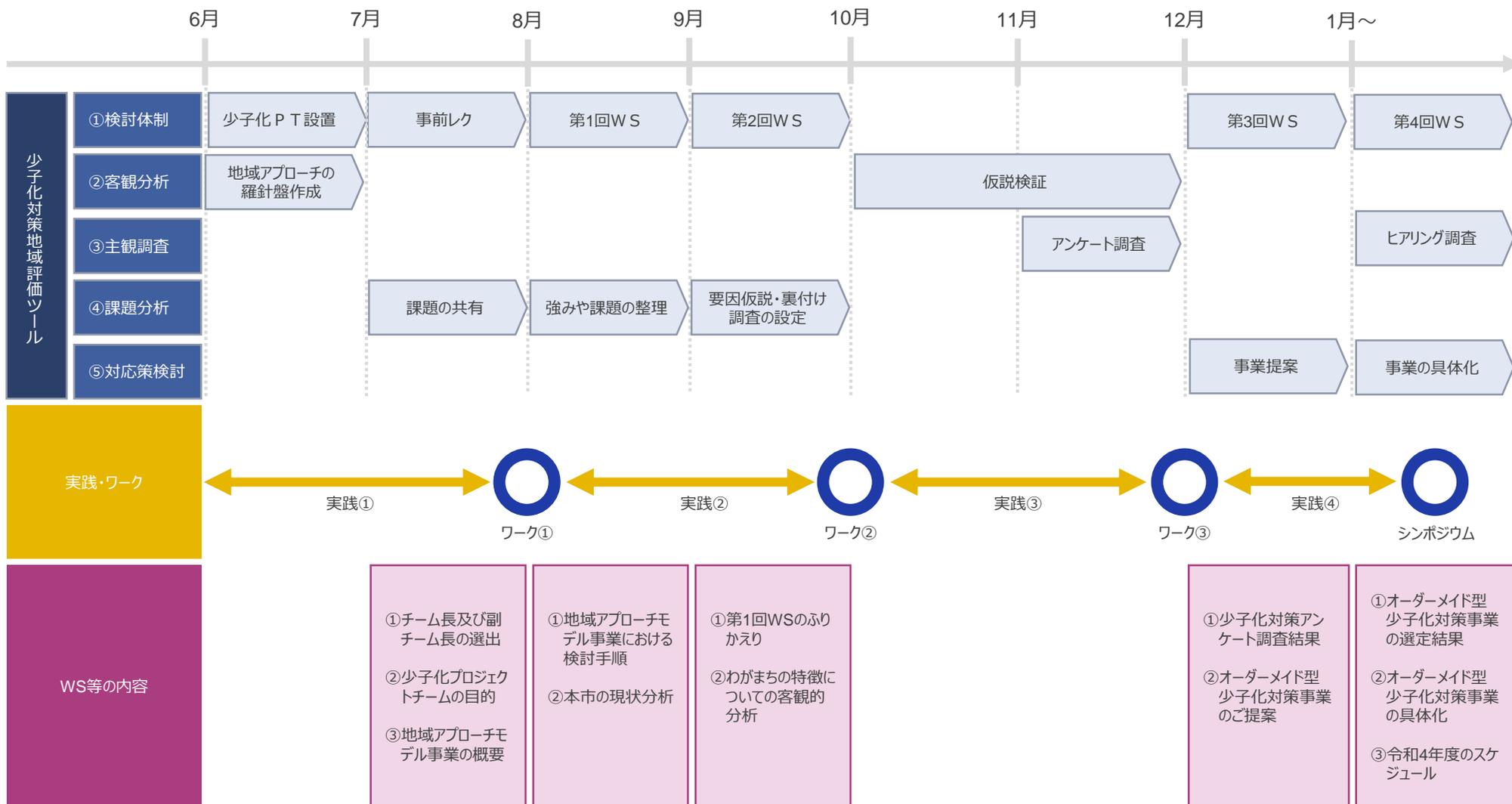
発表用資料②

高知県 安芸市



モデル事業の進め方

モデル事業の目的を達成するために、下記のスケジュールで取組を実施した。



少子化プロジェクトチーム設置 (R3.6.1)

全10課からなる少子化対策プロジェクトチームを設置した。

◎ : リーダー、
○ : サブリーダー

所属	部署名	役職	属性	リーダー
安芸市役所	税務課	係長	40代女性	◎
	総務課	係長	40代男性	○
	学校教育課	係長	40代男性	
	財産管理課	主幹	30代男性	
	生涯学習課	主幹	30代女性	
	農林課	主幹	30代女性	
	企画調整課	主幹	30代男性	
	商工観光水産課	主幹	30代男性	
	市民課	主査	30代女性	
	福祉事務所	主査	30代女性	
	企画調整課	課長	50代男性	
	企画調整課	補佐 兼 係長	40代男性	
企画調整課	主事	20代男性		

事前レク (R3.7.21)

本市の少子化問題に関する現状について、情報共有を行った。

従来の統計データ



地域評価ツールを活用した統計データ



少子化対策地域評価ツールを活用することで、従来数値化することが困難であった地域力を見える化できた。

第1回WS (R3.8.23)

ブレインストーミング形式で、本市の特徴を整理した。

STEP1

分野ごとに本市の強みと課題を整理

④地域の強み・課題の分析

地域の強み・課題の整理・検討フォーマット (宇根グループ)

分野	強み (客観 + 主観)	課題 (客観 + 主観)
賑わい・生活環境	自然が豊か 治安が良い 川で遊べる ゴミの分別が楽 ペットタウンになる	津波が怖い キャンプができない
家族・住生活	地元民が多い 空き家バンクがある	20~30代の人口流出 家賃が高い 出会いがない 空き家バンクが古い 空き家バンクの機能がない
地域・コミュニティ	郷土愛あり 防災組織が活動的 三養グループとのつながり 旧安芸町以外はコミュニティが強い 阪神のキャンプ地	生きる力の教育がない 自分の身体の教育がない 車が必須 旧安芸町は町内会がない 市の良さを上手くPRできていない 年代ごとにいがみ合っている
医療・保健環境	保健師のサポートが充実 総合病院がある	
子育て支援サービス	病児保育がある 支援メニューが多い 学童保育利用料無料	子どもが病気の時に困る 保健師多忙 子どもの世話を人に頼みづらい 幼稚園がない 小学校・保育が多すぎる 保育時間が短い 保育料が高い 一時保育1才から
働き方・男女共同参画		雨天に遊ぶ場所がない
経済・雇用	商圏がまとまっている なす・ゆずの生産量1位 コンパクトにまとまっている	働き方改革が進みにくい 雇用の場が少ない 農家の後継者不足 新規参入が少ない

第1回WS (R3.8.23)

ブレインストーミング形式で、本市の特徴を整理した。

STEP2

STEP1の成果を更にライフステージごとに整理することで見た本市の特徴に対応した少子化対策の方向性を設定

⑤ 対応策の検討

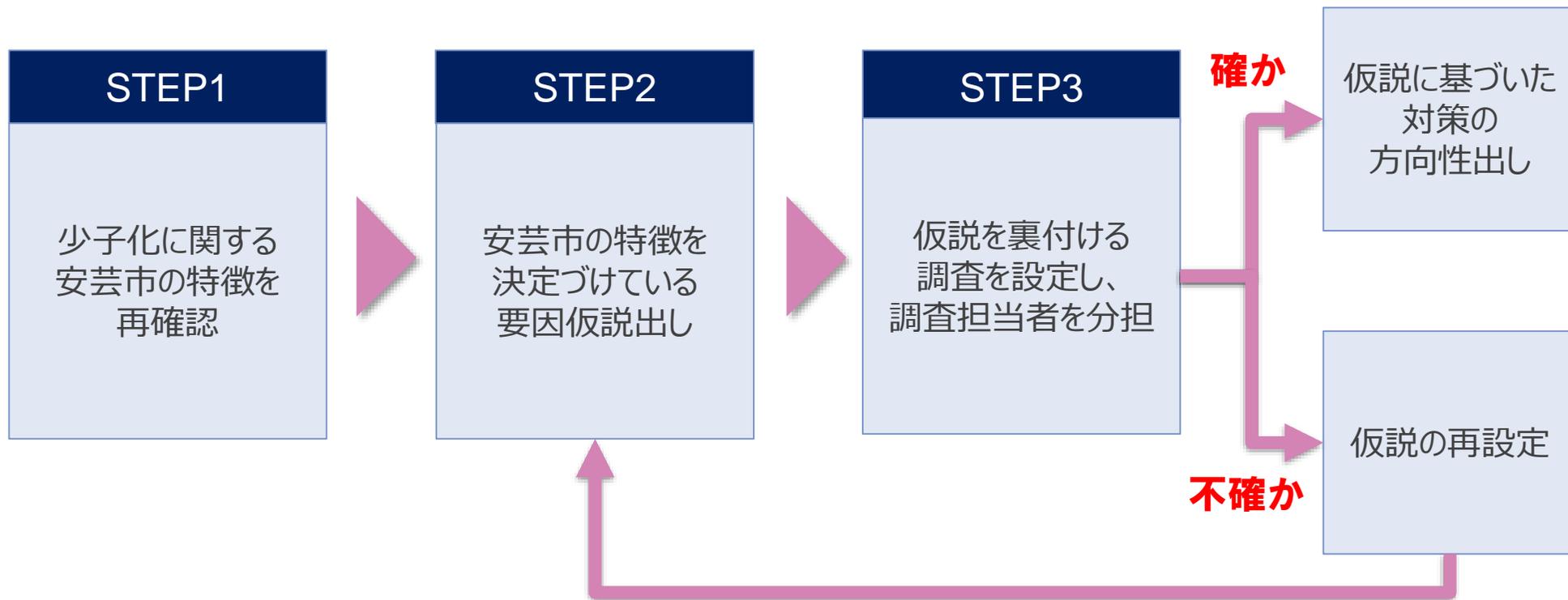
既存／今後の取組の整理・検討フォーマット (宇根グループ)

分野	ライフステージイメージ			妊娠・出産	子育て													
	出会い・結婚																	
賑わい・生活環境	自然が豊か				治安が良い	川で遊べる	ゴミの分別が楽	ペットタウンになる	津波が怖い	キャンプができない								
家族・住生活	20~30代の人口流出	家賃が高い	出会いがない		地元民が多い	空き家バンクがある	空き家バンクが古い	空き家バンクの質が悪い										
地域・コミュニティ	生きる力の教育が強い	自分の身体の教育がない			阪神のキャンプ地	郷土愛あり	防災組織が活動的	三豊グループとのつながり	旧安芸町以外はコミュニティ強い	旧安芸町は町内会がない	市の良さを上手くPRできていない	年代ごとにちがっている	車が必須					
医療・保健環境	(広義の少子化対策) 生命・身体・性等の「命の教育」を幼少期から行うことで、自分のライフプランを設計することができる			保健師のサポートが充実	総合病院がある													
子育て支援サービス				保健師多忙	育児保育がある	文庫メニューが多い	学童保育利用料無料	子どもが病気の時に困る	幼稚園がない	小学校・保育が多すぎる	保育時間が短い	保育料が高い	一時保育1才から					
働き方・男女共同参画									(狭義の少子化対策) 保育園を集約化することで、1施設あたりの保育機能の充実を図る				雨天に遊ぶ場所がない	子どもの世話を人に頼みづらい				
経済・雇用	商売がまわっている	なす・ゆずの生産量1位	コンパクトにまとまっている	働き方改革が進みにくい	雇用の場が少ない				雇用の機軸者不足	新規参入が少ない								

第2回WS (R3.9.21)

本市の少子化に係る特徴をもたらす要因の仮説出しを行い、仮説を検証するための裏付け調査を設定した。

検討ステップ



第2回WS (R3.9.21)

STEP1

要因の仮説出しを行い、仮説を検証するための裏付け調査を設定

本市の少子化に係る特徴をもたらす要因の仮説出しを行い、仮説を検証するための裏付け調査を設定した。

モデル自治体の現状分析 ～安芸市の特徴とその要因を探る～

少子化の要因		わがまちの特徴 客観分析：県・全国値との比較／経年比較	特徴の要因仮説	仮説の裏付け調査
転出入	若年層	<ul style="list-style-type: none"> ◎転出 (15～19歳) <ul style="list-style-type: none"> ・転出率の県平均と比較して、男性は1.5倍、女性は1.8倍の転出率となっている。 (20～24歳) <ul style="list-style-type: none"> ・女性の転出率が、県平均より12pt高くなっている。 ◎転入 <ul style="list-style-type: none"> ・女性の転入率が、県平均を上回っているのに対して、男性の転入率が、県平均を下回っている。 	<p>例. (20～24歳) 女性が求める雇用の場が少ない？</p>	<p>例. 若年女性の就業別ランキングを調査し、ランキング上位の業種が本市にどの程度あるかを確認する。</p>
	子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> ◎転出 (25～34歳) <ul style="list-style-type: none"> ・転出率が10%を上回っているのは、男性の場合は25～29歳であるのに対して、女性の場合は25～34歳と若干長くなっている。 (35～49歳) <ul style="list-style-type: none"> ・県平均とほぼ一致している。 ◎転入 <ul style="list-style-type: none"> ・転入率が10%を上回っているのは、男女共に25～29歳までとなり、県平均とほぼ一致している。 		

第2回WS (R3.9.21)

STEP2

裏付け調査の協力者候補や実施時期、担当者等を決定

本市の少子化に係る特徴をもたらす要因の仮説出しを行い、仮説を検証するための裏付け調査を設定した。

No	調査・検討したいこと	優先度	協力者候補	実施時期	担当者	進捗
例	Uターン子持ち世帯のUターン理由、ハードル、ハードルを乗り越えた方法	高	移住相談窓口 地域の不動産屋	8月下旬	子育て支援課	未実施 実施中 実施済
1	安芸高校と桜ヶ丘高校の「進路状況」	高	各高校HP	9月下旬	企画調整課	実施済
2	女性が望む雇用の場がないのかどうか	高	安芸市総合計画2021	12月	企画調整課	実施中
3	安芸市は雇用の場が少ないのかどうか	高	ハローワーク安芸 業務月報	9月下旬	企画調整課	実施済
4	県立あき総合病院に勤務する方の異動	中	県立あき総合病院	12月	企画調整課	実施中
5	外国人人口の推移	高	住民基本台帳	9月下旬	企画調整課	実施済
6	男性の場合、農業をはじめとした一次産業に係る転入が多いのかどうか	高	安芸市移住者アンケート	9月下旬	企画調整課	実施済
7	Uターン・Iターン者の割合が多いのかどうか	高	安芸市移住者アンケート	9月下旬	企画調整課	実施済
8	他自治体と比較して家賃が高いかどうか	高	賃料相場情報SUUMO	9月下旬	企画調整課	実施済
9	農業者の有配偶率が低いのかどうか	高	国勢調査2015	9月下旬	企画調整課	実施済
10	出会いの場や婚活について	中	結婚に対する意識調査 2015	9月下旬	企画調整課	実施済

仮説・検証 (R3.10~12月)

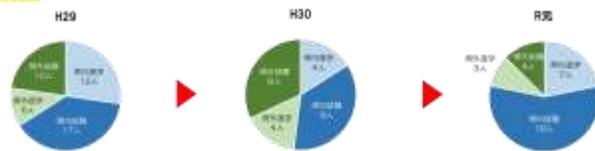
第2回WSで設定した裏付け調査と共に、子育て世帯を対象としたアンケート調査を実施した。

① 安芸高校と桜ヶ丘高校の「進路状況」

安芸高校



桜ヶ丘高校



③ 安芸市は雇用の場が少ないかどうか



有効求人倍率 (R3.3月時点)

	一般	パートタイム
農・林・漁業	8	6
鉱業	0	0
建設業	32	0
製造業	15	5
電気・ガス・熱・水道	0	0
運輸・郵便業	1	3
卸売・小売業、飲食店	11	47
情報・医療・不動産業	2	0
医療・福祉	55	32
サービス業	6	30
公務、その他	13	27
計	143	150

令和2年の調査では、新型コロナウイルス感染症の影響により有効求人倍率が**落ち込んでいた**が、その後の回復と令和3年1月は1.4を記録している。

女性の就業希望が比較的に少ない「建設業」や「製造業」については一般的な求人が多い。一方、女性では希望が比較的に多い「卸売・小売業、飲食店」や「サービス業」についてはパートタイムの求人が多い。なお「医療・福祉」については、一般・パートタイムのどちらの求人とも多い。

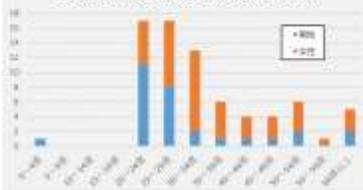
⑤ 外国人人口の推移



H25からR2の外国人人口増加率は**約1.5倍**と約1%であるのに対して、安芸率は**1.5倍**と**約1.5倍**と増加している。

男女別にみると、外国人男性の増加率は**2.63%**、外国人女性の増加率は**1.4%**となっている。

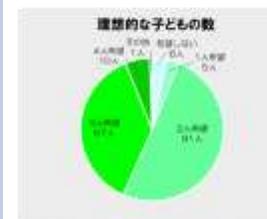
年齢階層別の外国人人口 (R3.1月1日時点)



外国人男性の人口が最も多い年齢階層は**20~24歳**であり、全体の**38%**を占めている。それに対して、外国人女性の人口が最も多い年齢階層は**30~34歳**であり、全体の**24%**を占めている。

外国人女性の合計で見ると、**20~34歳**で全体の**64%**を占めている。

⑫ そもそも子どもを持ちたいと考えていない世帯が多いかどうか



理想の女の子の数は「**2人程度**」が全体の約半割を占めている。また「**3人程度**」が全体の約2割を占めている。

「子どもを**抱っこしない**」人は全体の**10%**であり、そもそも子どもを望んでいない人の割合は概ね低いことが分かる。



男女共に最も多く挙げられた理由は「**子育てが想像以上に大変そう**」であった。また女性が多く挙げた理由として「**育児の負担が将来の生活費に繋がらないうちに済ませたい**」、「**仕事と子育ての両立が難しい(子育て支援サービスの不足)**」、「**仕事と子育ての両立が難しい(両立が難しい)**」の順で挙げている。

第3回WS (R3.12.20)

これまでの検討経過を踏まえ、各チーム員からオーダーメイド型の少子化対策事業を提案・選定した。

No.	提案事業名
1	子育て応援パッケージの提供
2	出会い子育てコンシェルジュの設置
3	児童遊園施設の新設
4	子育て支援特設サイトの開設
5	子育て支援アプリの導入
6	屋内遊具施設併設の図書館整備
7	認定こども園の新設及び既存施設を活用した複合子育て支援拠点の整備
8	安芸市版「性・いのちの教育」推進事業
9	全世代型 安芸市まるごと子育て応援プロジェクト
10	ベーシックインカム・シェアハウス ～価値観の変革と「まあるい」コミュニティ～
11	給食費の無料化
12	安芸ひろめ市場
13	同窓会開催支援事業
14	無料化施策の更なる充実及び発信
15	安芸市子育て意識改革プロジェクト
16	安芸市のことなら何でもここに聞いて！ あき暮らし総合相談窓口サービス(ワン・ストップ・サービス)(仮)
17	子育て世帯の住民税減税及び家族手当の支給
18	子育て拠点施設の整備

オーダーメイド型少子化対策事業 提案シート (記載例)

氏名 山岡 遥

提案事業 児童遊園施設を柱とした子育て支援拠点の整備

現状と課題

本市には親子で訪れることのできる娯楽施設や商業施設が少なく、休日における子育て世帯の市外流出によるまちの賑わいの低下が懸念される。
また、子育て世代包括支援センターやファミリーサポートセンターのように子育て支援機能を有した施設が一定整備されているものの、子育て世帯から利用がしにくいといった意見があり、実利用人数の伸び悩み等の問題が生じている。

調査結果

■子育てアプローチの現状

②「17の地域力」の分析（1）面白い・生活様式
分析「生活様式は整っているが、面白いが弱い。」

■少子化対策アンケート調査結果

質問（8）「公園の子ども遊具」と「児童館の子ども遊具」のギャップを解消するために、どのようなサポートがあればよいと思いますか。

その結果は、両施設でも遊べる遊具、子どもを連れて食事できる遊具、季節や曜日でも利用できる遊具等。

質問（14）その他、児童館の少子化対策への意見やご感想があればお聞かせください。

- 子ども連れで遊ぶ場所（無料）でもあれば楽になると思います。
- 遊具で遊ぶ遊具（毎に別料金でも遊べる遊具）の充実。
- 子ども遊具の数は少ない。
- ファミリーもいないので、おもしろさを減らして面白くない。

提案事業の概要

現市庁舎跡地に「児童遊園施設を柱とした子育て支援拠点」を整備する。

- 遊園機能
 - 屋内型遊園施設、屋外型遊園施設
 - ※天候に左右されず、利用できる施設
- 商業機能
 - 飲食店(ファミリーレストラン、フードコート等)、子ども用品店
 - ※遊園施設の利用客を商業施設へと誘導
- 保育機能
 - 市内保育施設の統合
 - ※子育てのために、仕事を離れた方が子育てをしながら働ける環境づくり【雇用の場創出】

第4回WS (R4.1.26)

第3回WSにて選定されたオーダーメイド型少子化対策事業案を具体化した。

出逢いコンシェルジュとは



婚活等の出会いイベントの企画・支援を行うとともに、子育て家庭やこれから子どもが産まれる家庭がスムーズに市内の子育て支援やサービスを利用できるように、個々に応じた情報提供や相談対応を行う専門相談員(会計年度任用職員)です。

業務内容

出会い分野

- 出会いイベントに係る業務
 - ・ 出会いイベントの企画・実施・支援
- 婚活サポーターに係る業務
 - ・ 婚活サポーターイベントへの参加
 - ・ 婚活サポーターとの連携

子育て分野

- 相談業務
 - ・ 子育て支援サービス全般に関する相談
 - ・ 保育所の入園相談
 - ・ 子育てに関する相談

県との連携(結婚支援)

- マッチングシステムとの連携
 - ・ マッチングサポーターの人材発掘
 - ・ お引合せ会場の発掘
 - ・ 出張登録会及び相談会の開催
- 出会いサポートセンターが実施するイベントの共催
 - ・ 企画段階から当日まで主体的に参画
 - ・ 参加者集めのための積極的な声掛け
 - ・ サテライト会場の準備・運営

県との連携(子育て分野)

- フォーラムへの参画
 - ・ 応援団や地域企業に対して参加の働きかけ
 - ・ 市職員の参加

予算

※安芸市移住コンシェルジュ(会計任用職員)を基に算出

	金額	備考
給料	1,656,144	月額138,012円
通勤手当	50,400	月額4,200円
賞与	51,132	
社会保険料	264,036	月額22,003円
超勤手当	18,550	135/100×14時間
計	2,040,262	

【備考】

地域少子化対策重点推進交付金を活用
負担割合:国2/3、市1/3